

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。  
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保存して下さい。

T-171B

第2類医薬品

りゅうたん しゃ かん とう

# 竜胆瀉肝湯エキス顆粒KM

## ⚠ 使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)  
次の人は服用しないこと  
生後3ヵ月未満の乳児。



### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)胃腸が弱く下痢しやすい人。
- (4)高齢者。
- (5)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (6)次の症状のある人。  
むくみ
- (7)次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病

#### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 〔効能又は効果〕

体力中等度以上で、下腹部に熱感や痛みがあるものの次の諸症：排尿痛、残尿感、尿にごり、こしけ（おりもの）、頻尿

## 〔用法及び用量〕

食前又は食間に服用する。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
大人（15歳以上）	3.5 g	3 回
小児 15歳未満 7 歳以上	2.3 g（約2/3匙）	
7 歳未満 4 歳以上	1.7 g（約1/2匙）	
4 歳未満 2 歳以上	1.1 g（約1/3匙）	
2 歳未満	0.8 g（約1/4匙）以下	

### 〈用法及び用量に関連する注意〉

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2)1 歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。

### 〔成分及び分量〕 1 日量(10.5 g)中

竜胆瀉肝湯水製乾燥エキス	5.50 g
〔日本薬局方 シオウ	5.0 g〕
〔日本薬局方 トウキ	5.0 g〕
〔日本薬局方 モクツウ	5.0 g〕
〔日本薬局方 オウゴン	3.0 g〕
〔日本薬局方 シャゼンシ	3.0 g〕
〔日本薬局方 タクシャ	3.0 g〕
〔日本薬局方 カンゾウ	1.0 g〕
〔日本薬局方 サンシシ	1.0 g〕
〔日本薬局方 リュウタン	1.0 g〕

添加物として、乳糖、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

- 本剤は天然の生薬から有効成分を抽出した製剤ですので、製品により顆粒剤の色・風味が若干異なることがありますが、薬効には変わりありません。

### 〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）

### 〔お問い合わせ先〕

一元製薬株式会社「お客様相談室」

〒171-0043 東京都豊島区要町3-4-10

電話：03-3973-2917

○受付時間：9:00～17:00（土、日、祝祭日を除く）

発売元 **一元製薬株式会社**  
東京都豊島区要町3-4-10

製造販売元 **北日本製薬株式会社**  
（輸入元） 富山県中新川郡上市町若杉55